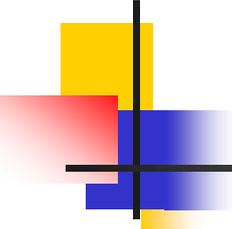


---

# 療護センターの長期入院患者に対する アンケート調査結果報告書(概要)



# I. 長期入院患者に対するアンケート調査の概要

## 1. 目的

本調査は、療護センターの将来のあるべき姿を検討するにあたり、療護センターの役割、機能、体制等に対する利用者(入院患者及びご家族)のニーズや意識について幅広く調査することを目的として実施したものである。

## 2. 調査概要

- 調査対象： 千葉療護センターへ入院(長期入院)している患者のご家族
- 調査時期： 2022年9月末(郵送日)～2022年11月11日(締切日)
- 調査方法： 調査票による記入方式(郵送配布、郵送回収)
- 配布数： 171名      回収数： 106名      回答率 62.0%

## Ⅱ. 集計結果

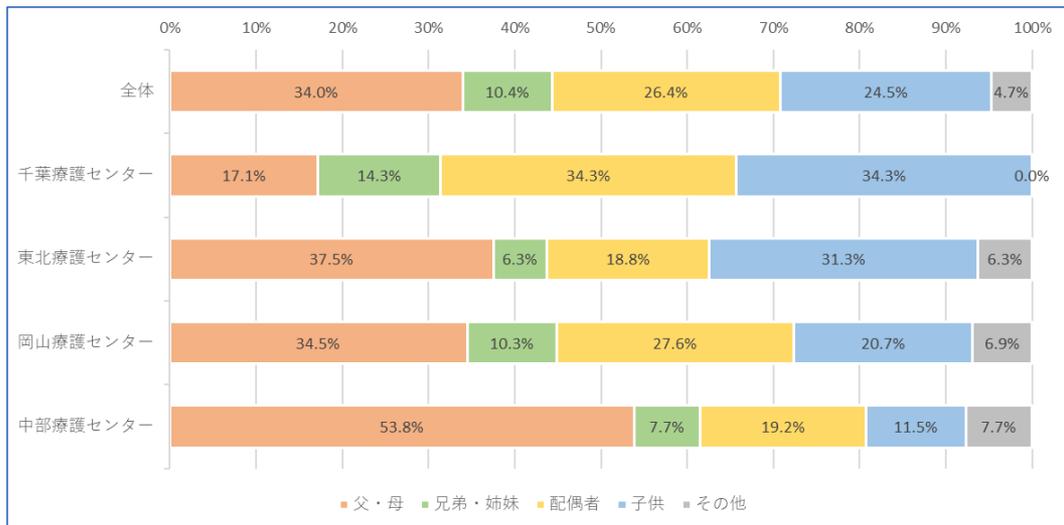
### 1. 回答者の属性(Q1-1:回答者の続柄)

【設問】Q1-1:入院患者の方とあなたとの続柄をお聞かせください。

Q1-1	父・母		兄弟・姉妹		配偶者		子供		その他		合計	
全体	36	34.0%	11	10.4%	28	26.4%	26	24.5%	5	4.7%	106	100.0%
千葉療護センター	6	17.1%	5	14.3%	12	34.3%	12	34.3%			35	100.0%
東北療護センター	6	37.5%	1	6.3%	3	18.8%	5	31.3%	1	6.3%	16	100.0%
岡山療護センター	10	34.5%	3	10.3%	8	27.6%	6	20.7%	2	6.9%	29	100.0%
中部療護センター	14	53.8%	2	7.7%	5	19.2%	3	11.5%	2	7.7%	26	100.0%

その他の内訳：

東北療護センター：祖父（1件）、岡山療護センター：成年後見人（2件）、中部療護センター：いとこ（1件）、叔母（1件）



回答者の続柄は、全体では父・母が**34.0%**、配偶者が**26.4%**を占めている。

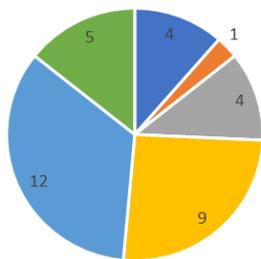
療護センター別にみると、最も割合が多いのは千葉療護センターは、配偶者、子供が34.3%、東北療護センターは、父・母が37.5%、岡山療護センターは、父・母が34.5%、中部療護センターは、父・母が53.8%である。

## Ⅱ. 集計結果

### 1. 回答者の属性(Q1-2:回答者の居住地)

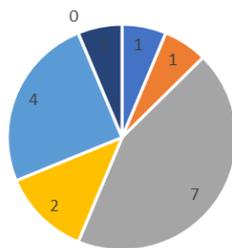
【設問】Q1-2:あなたの現在のお住まいはどちらですか。

千葉療護センター



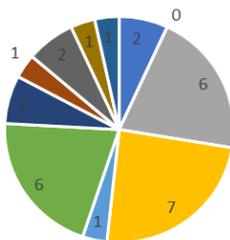
■茨城県 ■栃木県 ■埼玉県 ■千葉県 ■東京都 ■神奈川県

東北療護センター



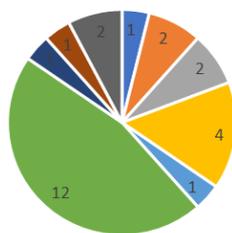
■青森県 ■岩手県 ■宮城県 ■秋田県  
■福島県 ■茨城県 ■栃木県

岡山療護センター



■滋賀県 ■京都府 ■大阪府 ■兵庫県 ■奈良県 ■岡山県  
■広島県 ■徳島県 ■香川県 ■愛媛県 ■高知県

中部療護センター



■山梨県 ■福井県 ■長野県 ■岐阜県 ■静岡県  
■愛知県 ■滋賀県 ■京都府 ■大阪府

各療護センターとも、所在地に近い都府県の居住者の利用が多くなっている。

回答者の居住地は、  
 千葉療護センターは、千葉県、東京都を中心に  
 関東地方の1都5県、  
 東北療護センターは、宮城県を中心に東北・関東  
 地方(北部)の7県、  
 岡山療護センターは、大阪府、兵庫県、岡山県  
 を中心に中国・四国・近畿地方の10県、  
 中部療護センターは、愛知県を中心に北陸東  
 海・甲信越・近畿地方の9県  
 となっている。

## Ⅱ. 集計結果

### 1. 回答者の属性(Q1-3:入院患者の性別)

Q1-3: 入院患者の方の性別をお聞かせください。

Q1-3	男性		女性		合計	
全体	78	73.6%	28	26.4%	106	100.0%
千葉療護センター	25	71.4%	10	28.6%	35	100.0%
東北療護センター	12	75.0%	4	25.0%	16	100.0%
岡山療護センター	23	79.3%	6	20.7%	29	100.0%
中部療護センター	18	69.2%	8	30.8%	26	100.0%

R3年度末実績	男性		女性		合計	
全体	118	69.4%	52	30.6%	170	100%
千葉療護センター	46	70.8%	19	29.2%	65	100%
東北療護センター	14	63.6%	8	36.4%	22	100%
岡山療護センター	30	68.2%	14	31.8%	44	100%
中部療護センター	28	71.8%	11	28.2%	39	100%



**入院患者の性別は、全体では男性が7割強、女性が3割弱となっている。**

尚、令和3年度末における療護センターの入院患者の性別は、男性69.4%、女性30.6%と回答者の比率とほぼ一致している。

## Ⅱ. 集計結果

### 1. 回答者の属性(Q1-4:入院患者の年齢区分)

【設問】Q1-4:入院患者の方の現在の年齢をお聞かせください。

Q1-4	10代		20代		30代		40代		50代		60代		70代		80代		合計	
全体	7	6.6%	21	19.8%	9	8.5%	15	14.2%	21	19.8%	13	12.3%	20	18.9%			106	100.0%
千葉療護センター	1	2.9%	3	8.6%	4	11.4%	4	11.4%	5	14.3%	5	14.3%	13	37.1%			35	100.0%
東北療護センター	1	6.3%	3	18.8%			4	25.0%	2	12.5%	3	18.8%	3	18.8%			16	100.0%
岡山療護センター	4	13.8%	6	20.7%	3	10.3%	1	3.4%	10	34.5%	2	6.9%	3	10.3%			29	100.0%
中部療護センター	1	3.8%	9	34.6%	2	7.7%	6	23.1%	4	15.4%	3	11.5%	1	3.8%			26	100.0%
<b>R3年度末実績</b>	10代		20代		30代		40代		50代		60代		70代		80代		合計	
全体	19	11.2%	35	20.6%	12	7.1%	20	11.8%	29	17.1%	20	11.8%	35	20.6%	0	0.0%	170	100%
千葉療護センター	4	6.2%	8	12.3%	6	9.2%	9	13.8%	13	20.0%	11	16.9%	14	21.5%	0	0.0%	65	100%
東北療護センター	2	9.1%	8	36.4%	1	4.5%	1	4.5%	2	9.1%	2	9.1%	6	27.3%	0	0.0%	22	100%
岡山療護センター	7	15.9%	8	18.2%	2	4.5%	3	6.8%	9	20.5%	5	11.4%	10	22.7%	0	0.0%	44	100%
中部療護センター	6	15.4%	11	28.2%	3	7.7%	7	17.9%	5	12.8%	2	5.1%	5	12.8%	0	0.0%	39	100%



入院患者の年齢区分をみると、全体では10代～30代、40代～50代、60代以上が1/3ずつとなっている。

60代以上の高齢者の割合は、千葉療護センターは51.5%、東北療護センターは37.6%、岡山療護センターは17.2%(30代以下が44.8%)、中部療護センターは15.4%(30代以下が46.2%)となっている。

注: Q1-5で入院先の療護センターを聞いているが、回答数は上記の合計数と同じである為、報告書での記載は割愛する。

## II. 集計結果

### 2. NASVA療護センターに入院した理由について(Q2-1:知ったきっかけ)

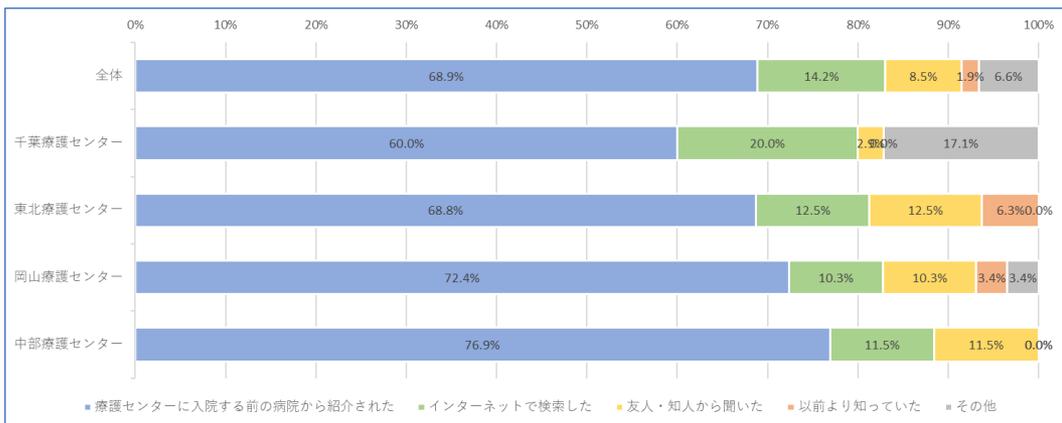
【設問】Q2-1:NASVA療護センターを知ったきっかけについて、お聞かせください。

Q2-1	療護センターに入院する 前の病院から紹介された		インターネットで検索し た		友人・知人から聞いた		以前より知っていた		その他		合計	
全体	75	70.8%	15	14.2%	9	8.5%	2	1.9%	5	4.7%	106	100.0%
千葉療護センター	23	65.7%	7	20.0%	1	2.9%			4	11.4%	35	100.0%
東北療護センター	11	68.8%	2	12.5%	2	12.5%	1	6.3%			16	100.0%
岡山療護センター	21	72.4%	3	10.3%	3	10.3%	1	3.4%	1	3.4%	29	100.0%
中部療護センター	20	76.9%	3	11.5%	3	11.5%					26	100.0%

その他の内訳：

千葉療護センター：弁護士（2件）、交通事故被害者家族ネットワーク（1件）、無記入（1件）

岡山療護センター：無記入（1件）



療護センターを知ったきっかけとして最も多いものは、『療護センターに入院する前の病院から紹介された』で6割以上である。

次に多いものは、『インターネットで検索した』で、各センターとも1割以上(千葉では2割)、『友人・知人から聞いた』は千葉以外で1割以上となっている。

## Ⅱ. 集計結果

### 2. NASVA療護センターに入院した理由について(Q2-2:入院を決めた理由)

【設問】Q2-2:NASVA療護センターに入院を決めた理由について、お聞かせください。※複数の項目を選択できます。

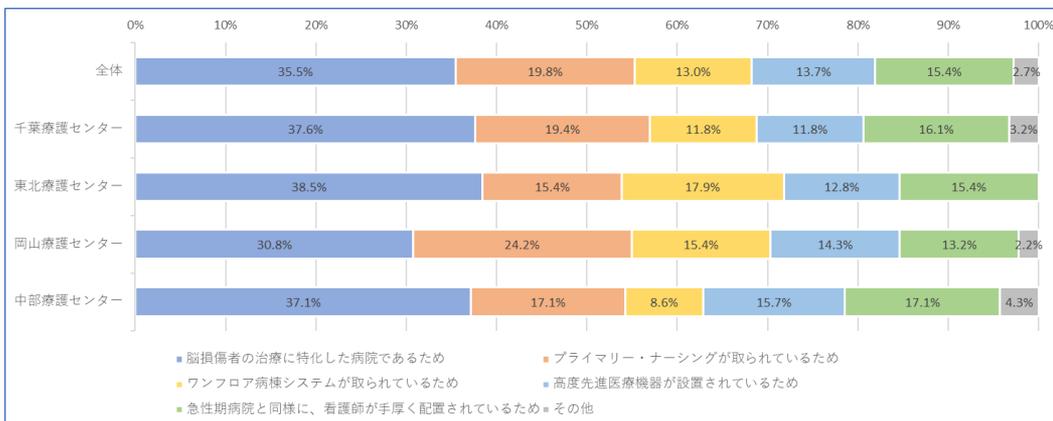
Q2-2	脳損傷者の治療に特化した病院であるため		プライマリー・ナーシングが取られているため		急性期病院と同様に、看護師が手厚く配置されているため		高度先進医療機器が設置されているため		ワンフロア病棟システムが取られているため		その他		合計 (複数回答)	
全体	104	35.5%	58	19.8%	45	15.4%	40	13.7%	38	13.0%	8	2.7%	293	100.0%
千葉療護センター	35	37.6%	18	19.4%	15	16.1%	11	11.8%	11	11.8%	3	3.2%	93	100.0%
東北療護センター	15	38.5%	6	15.4%	6	15.4%	5	12.8%	7	17.9%			39	100.0%
岡山療護センター	28	30.8%	22	24.2%	12	13.2%	13	14.3%	14	15.4%	2	2.2%	91	100.0%
中部療護センター	26	37.1%	12	17.1%	12	17.1%	11	15.7%	6	8.6%	3	4.3%	70	100.0%

その他の内訳:

千葉療護センター: 経済的負担の軽減 (1件)、無記入 (2件)

岡山療護センター: 長期間の診療、リハビリを受けられるから (1件)、無記入 (1件)

中部療護センター: 入院期間も長い (1件)、引き続き診てくれる病院が見つからないため (1件)、無記入 (1件)



療護センターへの入院を決めた理由で最も多いものは、『脳損傷者の治療に特化した病院であるため』で3~4割以上を占めている。

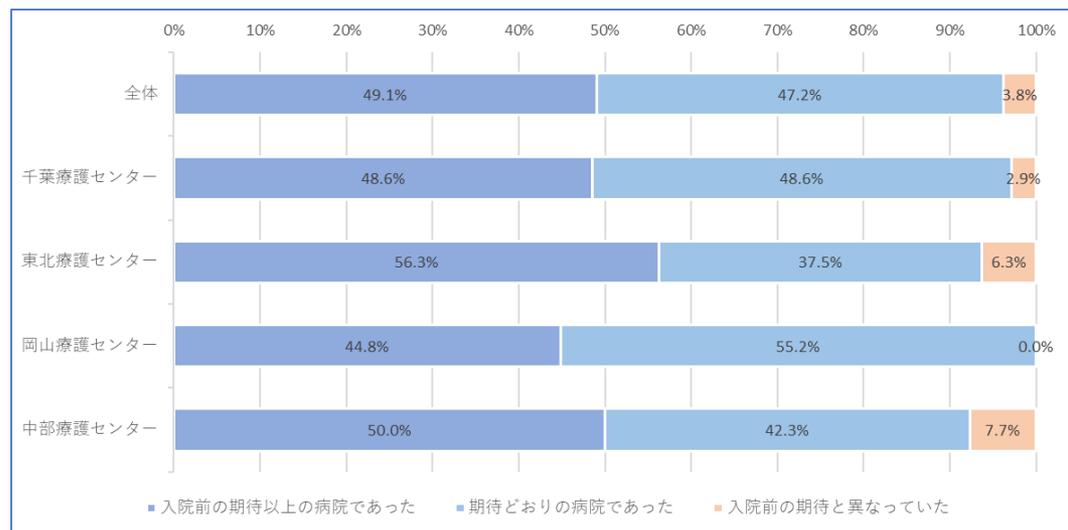
次いで、手厚い看護体制(『プライマリー・ナーシングが取られているため』および『急性期病院と同様に、看護師が手厚く配置されているため』)、  
『高度先進医療機器が設置されているため』、  
『ワンフロア病棟システムが取られているため』  
の順となっている。

## II. 集計結果

### 2. NASVA療護センターに入院した理由について(Q2-3:入院してからの感想)

【設問】Q2-3:NASVA療護センターに入院してからの感想をお聞かせください。

Q2-3	入院前の期待以上の病院であった		期待どおりの病院であった		入院前の期待と異なっていた		合計	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
全体	52	49.1%	50	47.2%	4	3.8%	106	100.0%
千葉療護センター	17	48.6%	17	48.6%	1	2.9%	35	100.0%
東北療護センター	9	56.3%	6	37.5%	1	6.3%	16	100.0%
岡山療護センター	13	44.8%	16	55.2%	0	0.0%	29	100.0%
中部療護センター	13	50.0%	11	42.3%	2	7.7%	26	100.0%



療護センターへ入院してからの感想としては、『入院前の期待以上の病院であった』、『期待どおりの病院であった』を合わせると、9割を超える回答であった。

『入院前の期待と異なっていた』という回答も若干あり、千葉療護センター、東北療護センターで各1件、中部療護センターで2件となっている。  
(岡山療護センターは無し)。

## II. 集計結果

### 2. NASVA療護センターに入院した理由について(Q2-4:Q2-3の理由)

【設問】2-4:Q2-3の理由を、お聞かせください。

Q2-4	回答数	該当する内容（複数回答）								合計
		看護	診療	家族サポート	リハビリ	MSW	職員全体	設備	その他	
全体	59	23	16	13	12	4	3	1	11	83
千葉療護センター	19	10	4	3	5	1	1		2	26
東北療護センター	7	1	4	1	3				1	10
岡山療護センター	18	7	8	3	2	2		1	5	28
中部療護センター	15	5		6	2	1	2		3	19

※ 左表は、Q2-4の回答（自由記載）59件の内容を、該当する項目別に集計したもの。1つの回答（文章）の中で、複数の項目に該当するものがある。

項目別には、看護と診療に関するご意見が多く寄せられた。主なご意見（抜粋）は以下の通り。

#### <看護等>

○プライマリーナーシングで手厚く看護して下さる。

○看護師や医師の皆さん、スタッフの皆さんは、びっくりするくらい志が高く良い方たちばかりなので。

○脳損傷になり、先が不安で何も分からなかったけれど、素晴らしい看護、治療のおかげでここまで良くなり、感謝しかありません。どのスタッフにも大変な仕事なのに、スペシャリストの集まりで手厚い体制でした。

○コロナ禍であっても徹底した治療と手厚い看護を受けることができた実感している。

○看護師の対応が非常に親切でした。MSWの知識が豊富ですごく助けられました。プライマリーケアやワンフロア病棟システムが取られ、安心して入院させることができる。様々なリハビリテーションもあり、回復に期待を持てる。

#### <診療等>

○本人の治療はもちろんのこと、家族へのサポートの素晴らしさに感動しました。自宅介護への不安を一つひとつ解消する手伝いが本当に素晴らしい。帰宅後に繋がっておくと安心な機関、人、業者との連携を図ってもらえてとても助かっている。

○転院前は本人に意識があることは分かっていたが、文字がかけたりPCを打ったりといった意思表示ができることは分からなかった。いろいろな可能性を引き出してくれてとても感謝しています。

○先生、スタッフの皆様のおかげで、息子、家族は絶望の淵から救われました。事故当初に比べてできることは増えました。尊さをあらためて感じます。とても感謝しております。

○カプセル、リハビリ、経過報告等の治療および3年間に及ぶ長期集中の医療を受けられた。

## Ⅱ. 集計結果

### 2. NASVA療護センターに入院した理由について(Q2-4:Q2-3の理由)

主なご意見(抜粋)は以下の通り(続)。

#### <家族サポート等>

- 本人の治療はもちろんのこと、家族へのサポートの素晴らしさに感動しました。自宅介護への不安を一つひとつ解消する手伝いが本当に素晴らしい。帰宅後に繋がっておくと安心な機関、人、業者との連携を図ってもらえてとても助かっている。
- 患者家族(患者本人を含め)に対してのコミュニケーションが素晴らしく、看護師、地域連携室職員の心遣いに、大変感謝しております。
- 病院から定期的に連絡が入り、コロナ禍で面会にはできないが、病状報告を受けられ、家族にも様子が分かる。
- コロナが流行する前はよく面会に行っておりました。明るく穏やかで、お世話して下さる看護師の笑い声も聞こえたり、安心できる環境だと思いました。慣れておられるので信頼してお任せしております。
- 入院してすぐに息子の顔の表情がとても明るくなりました。特別に毎日少しでもLINE電話をさせて頂き、息子との交流を通じて良き親子関係を築かせて頂いております。この交流は私の今後の介護をする上での展望を予測する良き材料となり、息子にとっても回復への歩みに繋がっていると確信しております。また、病院内のとても良い雰囲気も伝わってきて、大変安心して感謝しております。有難うございます。

#### <リハビリ等>

- 脳損傷の程度や状態を評価して、リハビリやケアをしっかりともらっている。カンファレンスの時に各担当者が分かりやすく説明して下さる。MSWIに相談しやすい。一緒に考えて頂ける。
- 高度で専門的な診断・治療を行っていると思う。リハビリも毎日、スタッフの皆さんが親身になって対応してもらえる。
- 歩行のリハビリができるまで回復するとは思っていなかった。
- リハビリ専門の病院であるという当初の説明通り、熱心にリハビリをしてもらっているようなので。
- リハビリをしっかりやってくれているから。

#### <MSW等>

- 看護師の対応が非常に親切でした。MSWの知識が豊富で大きく助けられました。

## Ⅱ. 集計結果

### 3. NASVA療護センターの利用状況について(Q3-1:良かった点)

【設問】Q3-1: 治療・看護を受けて、良かったところは何ですか。また、悪かったところや改善すべきところなどがあれば、お聞かせください。(回答自由記載)

Q3-1 良かった点	回答数	該当する内容(複数回答)								
		看護	診療	家族サポート	リハビリ	職員全体	MSW	設備	その他	合計
全体	90	40	24	19	18	12	2		13	128
千葉療護センター	32	18	12	5	5	7	2		3	52
東北療護センター	10	2	1	1	2	1			3	10
岡山療護センター	26	12	6	4	7	2			5	36
中部療護センター	22	8	5	9	4	2			2	30

※ 左表は、Q3-1<良かった点>の回答(自由記載)90件の内容を、該当する項目別に集計したもの。  
1つの回答(文章)の中で、複数の項目に該当するものがある。

項目別には、看護と診療に関するご意見が多く寄せられた。主なご意見(抜粋)は以下の通り。

#### <看護等>

- 看護師さんにとってもよくしてもらっています。安心しています。
- 千葉療護に入って1年が経ちました。想像以上に回復していることに感謝しかありません。プライマリーナーシングもとてもいいことと感じております。長期の入院ができる場所もありがたいです。この病院にしてよかったです。
- とにかく行き届いた、心のこもった看護師たちの熱心さでしょうか。感謝します。
- 手厚い看護を受け表情が出てきました。
- 同じ看護師が、様子や経過を良く分かっており、なんでも聞いて良かったです。検査から治療まで、慎重に観察して下さり、何かあってもすぐ対応してもらえた。
- プライマリーナーシングで手厚い看護を受けられ、通常では考えられない治療を受けることができた。してもらっている。
- プライマリーナーシングで、担当看護師がとても親身に話を聞いてくれて対応してくれるので、安心して話ができる。
- 娘一人に同じ看護師さんで、状況がビデオ通話で良く分かります。今後の体制も一緒に考えて下さり、心強く思っています。
- 緊張している部位をゆらしてほぐして下さるところ。異変に気づき、対応して下さるところ。

#### <診療等>

- 意識障害を改善するための具体的治療をして頂けること。スタッフの皆さんがあきらめずに可能性をみて日々取り組んで下さるところ。

## Ⅱ. 集計結果

### 3. NASVA療護センターの利用状況について(Q3-1:良かった点)

主なご意見(抜粋)は以下の通り(続)。

#### <診療等>(続)

- 担当医や看護師やスタッフの皆様が熱心に親切に治療・看護をしてくださって、大変うれしく思っています。
- 前の病院で床ずれしていた所を完全に治療して頂きまして感謝しています。
- 事故によって負ってしまった後遺症。治療、リハビリのおかげで”出来る事”が増えました。息子のこれからの人生の中の”生””命”と向き合うことができ、親としてこれから何ができるのか、考えることができる様になりました。
- 重度の頭部外傷で声を出すことさえできませんでした。現在ではほんの少しではありますが、返答できるまでに回復しました。
- 検査から治療まで、慎重に観察して下さい、何かあってもすぐ対応してもらえた。
- 脳損傷状態が正確に分かり、個人に合った治療を行って頂いたこと。毎日丁寧にケアして頂いたこと。

#### <患者サポート等>

- 担当の看護師が色々考えて試して下さい、コロナ禍で面会ができないので、月1回担当看護師から電話でお話が聞ける場所。
- コロナ禍でも定期的に面会を行い、患者の記憶力回復の増進に努めるのが良い。
- スタッフの方の対応がすごく良い。皆さんに親切に接して頂き家族は感謝です。
- 息子の症状や状態に合わせて頂いて、柔軟に対応して頂ける場所。スタッフの皆さんが親身になって対応して下さい、本人だけではなく家族に対しても寄り添って頂いて、とても心強い。支えてもらっています。本当に助かります。
- 患者だけでなく、家族にも向き合ってくださいと素敵だと思っています。
- コロナで面会が制限されたが、担当看護師とのLINEテレビ電話で、息子とわずかな時間でも様子を知ることができたこと。リハビリも充実しているようで、息子にとってとても刺激になったと思う。

#### <リハビリ等>

- PT、OT、ST、看護師、医師、皆がワンチームで、親身になって個々の可能性を追求して頂ける場所がとてもいいと思う。
- 患者をきちんと観察してくれて、いろいろなリハビリにチャレンジしてくれる。
- 長期間での治療、リハビリ等をして頂ける点。(短期間での入退院は患者本人にも家族にも大きな負担になる)。
- リハビリに力を入れてくれる場所。

## II. 集計結果

### 3. NASVA療護センターの利用状況について (Q3-1:悪かった点・改善すべき点)

【設問】Q3-1:治療・看護を受けて、良かったところは何ですか。また、悪かったところや改善すべきところなどがあれば、お聞かせください。(回答自由記載)

Q3-1 悪かった点 ・改善すべき点	回答数	該当する内容(複数回答)								合計
		家族サポ ート	診療	看護	リハビリ	職員全体	設備	MSW	その他	
全体	33	20	6	2	2	1	1		6	38
千葉療護センター	15	7	4		2	1	1		3	18
東北療護センター	4	3							1	4
岡山療護センター	10	6	2		1				1	10
中部療護センター	4	4			1				1	6

※ 左表は、Q3-1<悪かった点>の回答(自由記載)33件の内容を、該当する項目別に集計したものです。  
1つの回答(文章)の中で、複数の項目に該当するものがある。

項目別には、コロナ禍における家族サポートと診療に関するご意見が多く寄せられた。  
主なご意見(抜粋)は以下の通り

#### <コロナ禍(家族サポート)等>

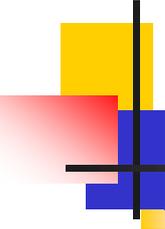
○経過観察の日程が、入院当初1か月の次が半年ごとで長い点。コロナの影響で、リハビリの様子などがまったくわからないので、動画などを取って頂いて説明してほしい。

○コロナ禍なので仕方がないが、退院に向けて自宅でを行うケアの指導を、もっと時間をとってやってほしかった。リハビリの仕方等も教えてもらいたかった。

○日々の過ごし方の情報をもっと多く展開してほしい。直接会える面会を増やしてほしい。現在全く無く、その気配もない。

○コロナ禍でもあり、患者とほとんど面会ができていないのが現状です。個室を利用して、私たちももっと接する時間を頂いて声掛けをしていき、携帯電話のメール等を利用して患者の状態をリアルタイムで知りたいと思います。

○コロナ禍で面会ができず、また、遠方であることもあり、もう少し頻回に患者の状態の報告、情報が欲しい。家族は少しの変化でも知りたいと思っている。必要な連絡がもっと早く頂けるとありがたい。危機管理がもう少し必要。



## Ⅱ. 集計結果

### 3. NASVA療護センターの利用状況について (Q3-1:悪かった点・改善すべき点)

主なご意見(抜粋)は以下の通り(続)。

#### <診療等>

- 以前、本人が医学学会の研究の為に協力する事案があったのですが、その後どのような研究だったなど説明は欲しかったです。
- 脳損傷に特化しているので仕方がないが、外来で他の病院に行くのが大変。往診して頂ける病院があると良いと思う。
- 担当医師が代わると、言うことが変わるので、どうしたらいいか分からなくなる。
- 娘が軽い肺炎をおこしたとき、三連休に入るため職員が少なくなるので、薬を早めに始めますと言われました。お休みも必要なのは分かります。でも、娘に必要なこと、娘の為と思っの、言葉ではないように感じました。

#### <看護等>

- 療護センターの魅力の一つである、同じ看護師にお願いできる点ですが、途中で担当が変わってしまい、それも決定事項だといわれ、家族の意見を聞いてもらえず残念でした。
- 希望ですが、もう少し面会できる機会を設けてほしい。室外に出て、風や光に充てる時間を作ってほしい。

#### <その他>

- 入院期間が最長で3年間ということで、その後、受け入れてくれる施設や病院が限られてくるので、療護センターグループの施設があれば、そのまま移行できるのにと感じました。

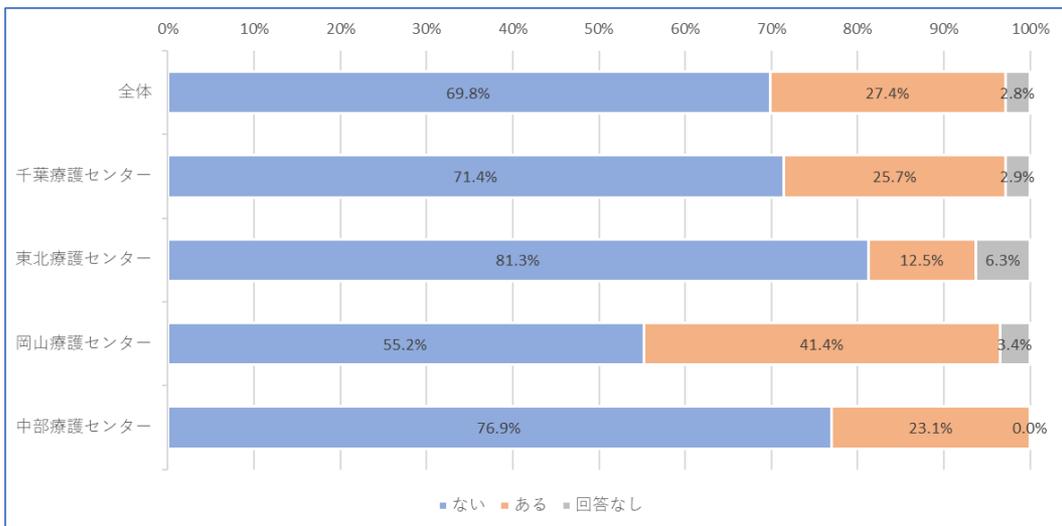
## Ⅱ. 集計結果

### 3. NASVA療護センターの利用状況について (Q3-2:取り組んでもらいたいこと)

【設問】3-2: 受けている治療・看護とは別に、NASVA療護センターで新たに取り組んでもらいたいことはありますか。

Q3-2	ない		ある		回答なし		合計	
全体	74	69.8%	29	27.4%	3	2.8%	106	100.0%
千葉療護センター	25	71.4%	9	25.7%	1	2.9%	35	100.0%
東北療護センター	13	81.3%	2	12.5%	1	6.3%	16	100.0%
岡山療護センター	16	55.2%	12	41.4%	1	3.4%	29	100.0%
中部療護センター	20	76.9%	6	23.1%			26	100.0%

新たに療護センターに取り組んでもらいたいことが『ない』と回答した人は7割前後、『ある』と回答した人は2割強であった。



## Ⅱ. 集計結果

### 3. NASVA療護センターの利用状況について(Q3-3:Q3-2の理由)

【設問】3-3:Q3-2で「ある」と回答された方にお聞きします。「ある」と回答された理由をお聞かせください。(回答自由記載)

Q3-3	回答数	該当する内容(複数回答)								合計
		リハビリ	家族サポート	診療	MSW	看護	職員全体	設備	その他	
全体	27	7	7	4	1				11	16
千葉療護センター	8	3	2	2					2	4
東北療護センター	1								1	1
岡山療護センター	12	3	4	2	1				4	7
中部療護センター	6	1	1						4	4

※ 左表は、Q3-3で『ある』と回答した29人のうち、回答(自由記載)があった27件の内容を、該当する項目別に集計したものです。  
1つの回答(文章)の中で、複数の項目に該当するものがある。

項目別には、リハビリと家族に対するサポートに関するご意見が多く寄せられた。主なご意見(抜粋)は以下の通り。

#### <リハビリ等>

- 素人なので効果は分かりませんが、音楽運動療法をネットや本で見たことがあるのですが、どうなのでしょうか?
- 退院後のリハビリに継続できるものを取り入れて頂けたらと思います。
- リハビリ単位時間の縛りがあるのは分かるが、重度意識障害者の受入ならばもっとリハビリ時間は増やせないのかと思う。

#### <家族サポート等>

- 患者の記憶回復に必要な品物の持ち込み許可ができる様にしてほしい。家族の写真や趣味の品々等。
- 入院したばかりなのでこの先あるかもしれませんが、退院後に向けた自宅での介護のやり方やリハビリのやり方の講習会のようなものがあればうれしいです。それと退院後の定期検診のようなものがあればうれしいです。

#### <診療等>

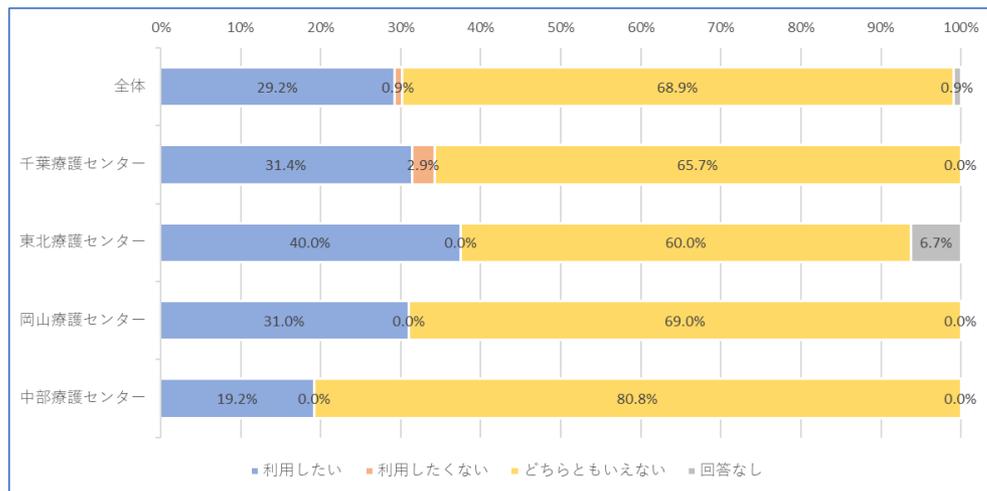
- 電気治療ができれば…。可能性があればやってみたいです。
- 再生医療を取り入れて頂きたいです。
- 電気刺激治療等、少しでも可能性のある治療があれば、積極的に取り組んで頂きたいと思います。

## II. 集計結果

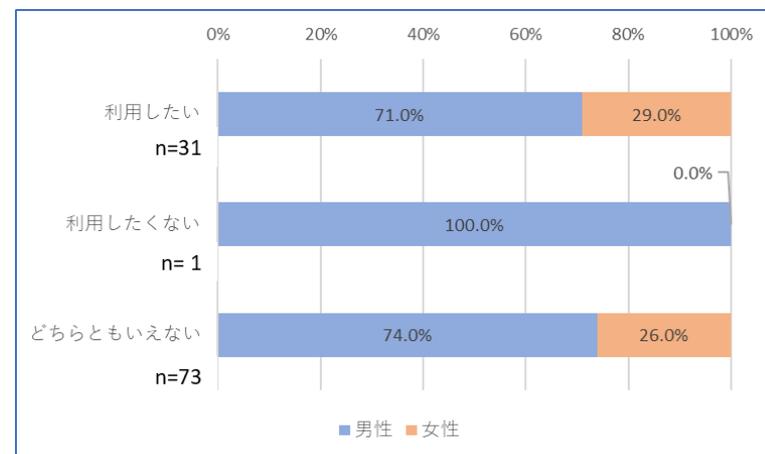
### 3. NASVA療護センターの利用状況について(Q3-4:男女別の病床の利用)

【設問】Q3-4:NASVA療護センターに男女別の病床があれば、利用したいですか？

Q3-4	利用したい		利用したくない		どちらともいえない		回答なし		合計	
全体	31	29.2%	1	0.9%	73	68.9%	1	0.9%	106	100.0%
千葉療護センター	11	31.4%	1	2.9%	23	65.7%			35	100.0%
東北療護センター	6	40.0%			9	60.0%	1	6.7%	15	100.0%
岡山療護センター	9	31.0%			20	69.0%			29	100.0%
中部療護センター	5	19.2%			21	80.8%			26	100.0%



全体(回答なしを除く)における男女別の回答状況



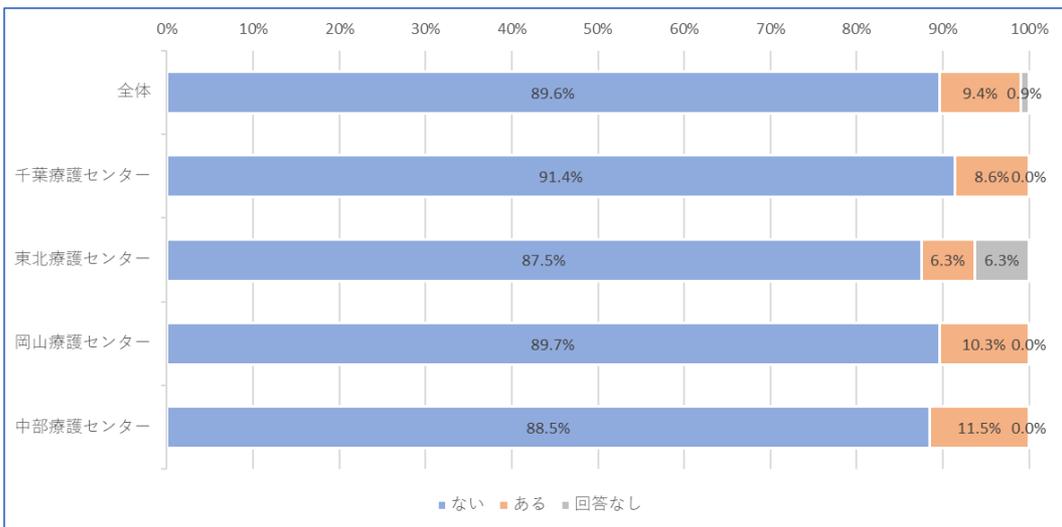
男女別の病床があれば利用したいかについては、『利用したい』と回答した人は全体では3割前後であった。

## Ⅱ. 集計結果

### 3. NASVA療護センターの利用状況について(Q3-5:ワンフロア病棟システム)

【設問】Q3-5:NASVA療護センターのワンフロア病棟システムについて、気になっているところがあれば、お聞かせください。

Q3-5	ない		ある		回答なし		合計	
全体	95	89.6%	10	9.4%	1	0.9%	106	100.0%
千葉療護センター	32	91.4%	3	8.6%			35	100.0%
東北療護センター	14	87.5%	1	6.3%	1	6.3%	16	100.0%
岡山療護センター	26	89.7%	3	10.3%			29	100.0%
中部療護センター	23	88.5%	3	11.5%			26	100.0%



ワンフロア病棟システムについて、気になっているところがあるかの問いに対しては、9割程度が『ない』と回答している。1割程度が『ある』と回答している。

## Ⅱ. 集計結果

### 3. NASVA療護センターの利用状況について(Q3-6:Q3-5の理由)

【設問】Q3-6:Q3-5で「ある」と回答された方にお聞きします。「ある」と回答された理由をお聞かせください。(回答自由記載)

Q3-6	回答数	該当する内容(複数回答)			
		プライバシー	感染対策	その他	合計
全体	9	6	2	1	9
千葉療護センター	2	1		1	2
東北療護センター	1	1			1
岡山療護センター	3	2	1		3
中部療護センター	3	2	1		3

Q3-5で『ある』の回答10件のうち、Q3-6でご意見が記載されたものは9件で、項目別には、プライバシーと感染対策等に分類できる。ご意見の内容(全9件)は以下の通り。 ※( )内は、被害者の性別、年齢、入院先を示す。

#### <プライバシー>

- 聞いた話ですが、プライベートがなく、便のにおいも周りに漏れてしまうと聞きました。(男性、80代)
- 看護の性質上仕方ないと思うが、プライベートな空間があったほうが良いと思う。当人の症状にもよるが。(女性、40代)
- 患者のプライバシーが守られているか気になりました。(男性、50代)
- 個人のプライバシーがどこまで守られているのか気になる。(男性、10代)
- 常に患者の状態を観察して頂けるのはありがたいですが、女性専用、若い方と分けるほうが親としては安心します。一度も病棟内に入ったことがない為、万が一が心配です。(女性、20代)
- 異性として意識しないか、心配な部分もあります。(男性、60代)

#### <感染対策>

- 今回のように感染症が起きたときに困りますので、方法は分かりかねますが、考えたほうが良いと思います。(男性、70代)
- 感染予防。(男性、10代)

#### <その他>

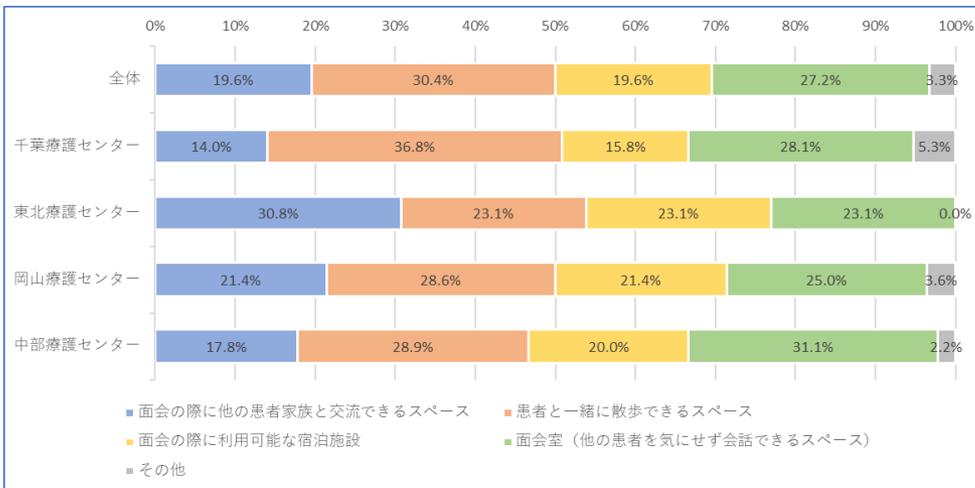
- うちにはワンフロア病棟システムは、むせこみ時にすぐ気づいてもらえて有難かったが、怒鳴る患者さんが近くのベッドで騒ぎ続けたら、ストレスが大きそうだと感じて。(男性、20代)

## II. 集計結果

### 3. NASVA療護センターの利用状況について(Q3-7:必要な施設)

【設問】Q3-7: NASVA療護センターに必要な施設について、お聞かせください。※複数の項目を選択できます。

Q3-7	患者と一緒に散歩できるスペース		面会室（他の患者を気にせず会話できるスペース）		面会の際に他の患者家族と交流できるスペース		面会の際に利用可能な宿泊施設		その他		合計 (複数回答)	
全体	56	30.4%	50	27.2%	36	19.6%	36	19.6%	6	3.3%	184	100.0%
千葉療護センター	21	36.8%	16	28.1%	8	14.0%	9	15.8%	3	5.3%	57	100.0%
東北療護センター	6	23.1%	6	23.1%	8	30.8%	6	23.1%			26	100.0%
岡山療護センター	16	28.6%	14	25.0%	12	21.4%	12	21.4%	2	3.6%	56	100.0%
中部療護センター	13	28.9%	14	31.1%	8	17.8%	9	20.0%	1	2.2%	45	100.0%



療護センターに必要な施設としては、  
『患者と一緒に散歩できるスペース』が30%、  
『面会室（他の患者を気にせず会話できるスペース）』が27%、  
『面会の際に他の患者家族と交流できるスペース』および『面会の際に利用可能な宿泊施設』が各20%ある。

『その他』として記載されているものは、下記の3件である(他には『特に無し』:1件、記載無し:2件)。

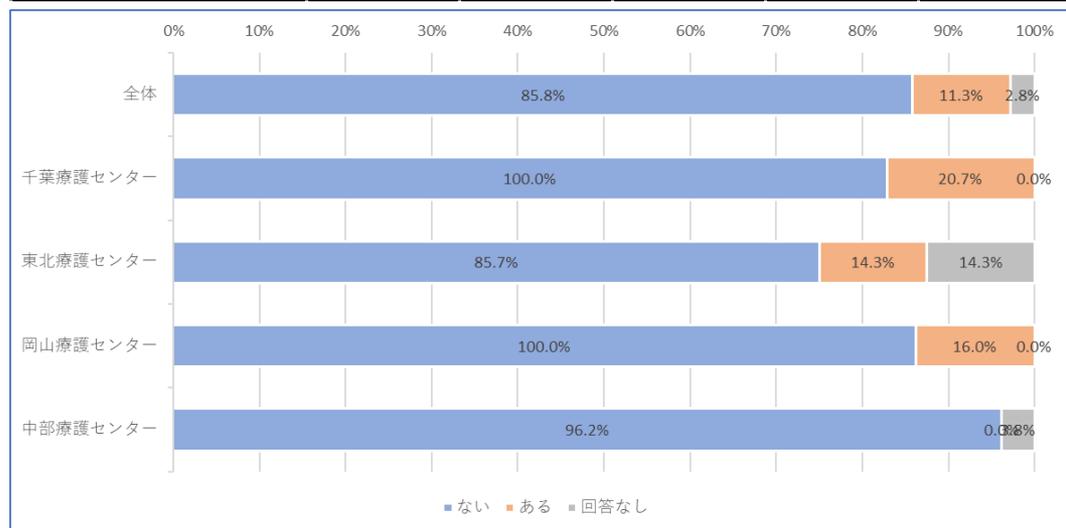
- 添寝ができる個室。コロナ禍では難しいと思いますが、お子さんが入院している方も多いと思いますので。
- モニター室を設けて病棟内を見られるようにする。
- 1日に数分でも携帯電話を使えたらな。

## Ⅱ. 集計結果

### 3. NASVA療護センターの利用状況について(Q3-8:入院までの過程)

【設問】Q3-8: NASVA療護センターに入院の申し込みから入院に至る過程で見直しが必要なところがあれば、お聞かせください。

Q3-8	ない		ある		回答なし		合計	
全体	91	85.8%	12	11.3%	3	2.8%	106	100.0%
千葉療護センター	29	100.0%	6	20.7%			29	100.0%
東北療護センター	12	85.7%	2	14.3%	2	14.3%	14	100.0%
岡山療護センター	25	100.0%	4	16.0%			25	100.0%
中部療護センター	25	96.2%			1	3.8%	26	100.0%



入院の申し込みから入院までの過程で見直しが必要なところについては、**8割強以上が『ない』と回答している。**

## II. 集計結果

### 3. NASVA療護センターの利用状況について(Q3-9:Q3-8の理由)

【設問】Q3-9:Q3-8で「ある」と回答された方にお聞きします。「ある」と回答された理由をお聞かせください。(回答自由記載)

Q3-9	回答数	該当する内容(複数回答)				合計
		申込頻度	期間	手続き	その他	
全体	12	5	5	3	2	15
千葉療護センター	6	2	2	2	1	7
東北療護センター	2	1		1		2
岡山療護センター	4	2	3		1	6
中部療護センター						

※ 中部療護センターでの記載はなかった。

項目別には、申込頻度と申込から入院(回答)までの期間、手続きに関するご意見が寄せられた。  
主なご意見(抜粋)は以下の通り。

#### <申込頻度等>

- 入院申込が年2回あると良いと思いました。
- 入院判定会議のタイミングが合わず、別な病院へ一旦入院したので、頻度を増やしてほしい。
- 入院日までに事故で入院した病院から転院を求められ、つなぎの2週間程度の病院を経て入院することになり、患者の負担は大きい。

#### <申込から入院(回答)までの期間等>

- 申込封筒がNASVAに届いているか心配だったので、こちらにTELLしてほしい。もしセンターに入院できないときのことも考えなくてはならないため、もっと早めに知らせてもらいたかった。
- 申込から入院に至るまで半年かかるので、長くても3か月以内にできればと思います。
- 入院決定から入院までの期間を短くしてほしい。

#### <手続き等>

- 入院前に手続きがとても難しいと感じた記憶があります。MSWの方に丁寧に教えて頂きましたが、入院申込が年に何回かしかなかったのが、タイミング等調整が大変だったと思います。

## Ⅱ. 集計結果

### 4. その他のご希望

【設問】Q4:その他ご希望がございましたらご記入ください。

Q 4	回答数	該当する内容（複数回答）								合計
		家族サポート	感謝	入院期間	退院後	職員体制	施設数	コロナ禍	その他	
全体	54	17	16	7	7	2	2	11	9	71
千葉療護センター	16	5	5	4	1	1		1	2	19
東北療護センター	7	2	1		1	1	1	3	1	10
岡山療護センター	20	6	5	3	4		1	4	4	27
中部療護センター	11	4	5		1			3	2	15

項目別には、家族サポート、感謝、入院期間、退院後等に関するご意見が寄せられた。また、その中にはコロナ禍における特殊事情に関するご意見もあった。主なご意見(抜粋)は以下の通り。

#### <家族サポート等>

- 少しでも可能性がある治療等、情報を教えて頂きたい。
- 他の患者や家族と意見交換できる機会があるといいと思う。
- 現在、入院されているご家族との交流の場を設けて頂いて、他のご家族の考え方等、情報の交換ができればよいと思います。

#### <感謝等>

- 職員さん一人ひとりの献身的な対応に感謝しています。
- いつもお世話になり、大変感謝しています。有難うございます！！
- 3年間は本人にとって最善の環境でいたことを感謝申し上げます。家族にとっても人生の貴重な時間でした。
- 皆様に日頃よりお世話になり、大変感謝しております。期待以上の対応です。叶いませんがずっと居させてほしいと思ってしまいます。
- 岡山療護センターで、事故後、大変な息子をよく受け入れてくださったと、感謝の気持ちでいっぱいです。ご縁を実感しています。他患者のご家族と交流の場があると悩みや情報交換できるのではないかと思います。

## Ⅱ. 集計結果

### 4. その他のご希望(続)

#### <感謝等>(続)

○これまでいろいろな病院に転院しましたが、スタッフが完璧で、MSWも丁寧な説明をして下さり、気持ちの負担が少し取れました。こちらの病院がなかったら、どうすればいいのか途方に暮れたと思います。事故後の手厚い看護、素晴らしい病院でした。たくさんの方々の支えになっています。このような病院が増えていくことを願います。

○いつも感謝しております。感謝しかございません。ありがとうございます。

○NASVA療護センターのおかげで母の命が繋がり、家族一同に希望に繋がりました。本当にありがとうございます。

○NASVA療護センターを作って下さり、ありがとうございます。

#### <入院期間等>

○3年間といわず、長くいられると助かります。

○入院期間が3年と決まっている点、延長できたらいいなと思います。ペットとの面会スペースもあり、母親は喜んでいると思います。

○3年しか療護センターに入院できませんが、考え方によっては3年もいられる。家族は少しでもこの入院期間に良くなってくれることを願っています。スタッフの方々、大変かと思いますが、宜しくお願いします。

○入院期間(2年半)をさらに長期に延ばして頂きたい。

○3年間という制限は何とか延長できないのでしょうか。ここ以上の施設を見つけることができず、困っています。

#### <退院後等>

○退院後の短期入院の場として利用したいのですが、65歳を過ぎて介護保険を使用せざるを得なくなったら、利用できないとのこと。この点は退院が近く65歳手前でもあるので大変不安に思います。

○退院後の相談をしてもレスポンスがないので、長期的な準備ができない。ワーカーも次々と代わり不安です。とにかく新型コロナで接点を持ってない。コミュニケーションができない。一年以上前に治療に対しての同意書にサインしたのに、未だにその治療を受けられない。スピード感の違いに不安になる。

○療護センター退院後、同じような手厚い看護を受けられる場所があれば安心だと思います。

○療護センターは本当に良い病院ですので、退院しなければいけないのが本当に残念です。次に転院する場所をぜひ、家族が同様に安心できる場所にして欲しいです。

## Ⅱ. 集計結果

### 4. その他のご希望(続)

#### <退院後等>

○NASVAで3年後の入所できる施設を作ってほしい。

○期間が決まっている中で、たくさんの人達に関わって頂き、本当に有難うございます。事故で重度障害になってしまい、以前の病院では、植物人間で一生上を向いて過ごすしかないと言われた所からの転院。現在は手も動き足もそろえ、笑顔もみられます。その回復に驚いています。が、この状態をキープできるよう、たくさん施設などを見て回っていますが、中々ここまでの支援を受けられるところがありません。たくさん不安でいっぱいになります。ここを出てからそのまま、このNASVAに一生涯安心して暮らせる場所があると良いなと思っています。

#### <コロナ禍等>

○パーティション面会の場所、またビニール越し等、もう少し改善してほしい。また、15分間の現在の時間ももう少し延ばしてほしい。

○療護センター内にて季節的な行事等の写真等がほしい。コロナ禍の為面会ができないため。

○面会時間をせめて30分にしてほしいと思います。

○コロナ禍でイレギュラーなのは重々承知ですが、感染症小休止時、ガラス越しではなく直接触れられるとうれしいです。

#### <職員体制等>

○土・日の医事課の休みは仕方ないが、昼休憩が1時間あるので支払いもできないのが残念です。

○各県によって障害者の支援が違っております。その時々によってどうすべきかをアドバイスできる人が欲しいです。

#### <施設等>

○療護センターの数を増やしてほしい。

○入院期間(3年以内)を年単位で延長してほしい！可能であればブロック毎(四国、中国、九州)単位であればよいと思う！

#### <その他>

○当事者になるまで、センターのことを知りませんでした。事故によって脳に障害を負ってしまった方はたくさんいらっしゃると思います。私たちは運よくセンターのお世話になることができました。どうぞこれからも、私たちのような家族、事故にあわれた方を救ってください。

○県外からの入院が多いと思いますので、病院指定の宿泊施設があればと思います。